



株式会社 **CE** ホールディングス



証券コード
4320

2022年9月期 第2四半期決算補足説明資料

2022年 4月



株式会社 **CE** ホールディングス

© 2022 CE Holdings Co.,Ltd.

目次



2022年9月期 第2四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

グループ概要

目次



2022年9月期 第2四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

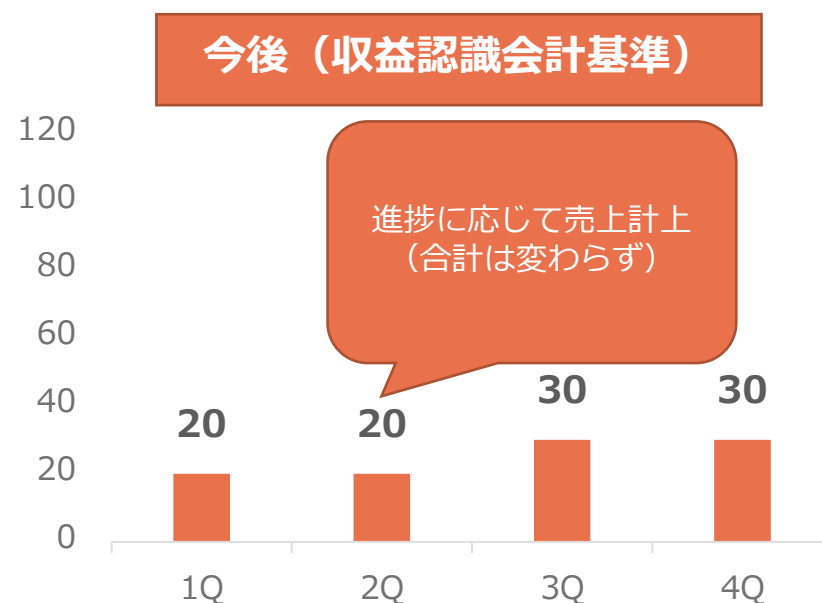
TOPICS

グループ概要

収益認識会計基準等の適用



- 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用。
- 医療機関を中心としたS I 作業を伴う医療情報システムの請負契約案件について、少額又はごく短期のプロジェクトを除き、従来の検収基準（製品・サービスの提供を完了し、検収書入手した日付によって売上を一括計上）から進行基準（受注時に売上原価総額を見積もり、原価発生の変捗率に応じて売上を計上）に当期より変更。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用し、過年度の遡及修正は行っていないため、本資料の前年同期比はすべて参考値（受注高を除く）。



四半期損益計算書（連結）



単位：百万円	2021年9月期 第2四半期 実績	2022年9月期 第2四半期 実績	前年同期比 増減率
売上高	6,719	7,233	+ 7.6%
営業利益	647	616	△ 4.8%
経常利益	683	620	△ 9.2%
当期純利益	382	335	△12.4%

- 電子カルテシステム「M I ・ R A ・ I s / A Z」の受注高及び導入作業が順調に推移したことにより、売上・利益面は好調に推移した。
- 「収益認識会計基準」等の適用（P.4参照）により、当第2四半期連結累計期間の売上高は50百万円減少し、売上原価は4百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ46百万円減少した。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用（P.4参照）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前年同期比はすべて参考値。

セグメント別実績（連結）



単位：百万円		2021年9月期 第2四半期 実績	2022年9月期 第2四半期 実績	前年同期比 増減率
医療 ソリューション事業	売上高	6,627	7,167	+ 8.2%
	セグメント利益	653	688	+ 5.3%
その他	売上高	92	65	△ 29.4%
	セグメント利益 又は損失（△）	0	△ 12	—

- 収益認識会計基準等の経過措置を適用（P.4参照）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前年同期比はすべて参考値。
- 「収益認識会計基準」等の適用により、医療ソリューション事業の売上高は50百万円減少し、セグメント利益は46百万円減少した。なお、その他においては影響なし。

・記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別受注状況（連結）



単位：百万円	2021年9月期 第2四半期 実績		2022年9月期 第2四半期 実績		前年同期比 増減率	
	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高
医療ソリューション事業	5,932	4,005	6,209	4,192	+ 4.7%	+ 4.7%
その他	43	4	10	7	△76.2%	+59.9%
合 計	5,975	4,009	6,220	4,199	+ 4.1%	+ 4.7%

- 「収益認識会計基準」等の経過措置を適用（P.4参照）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前年同期比はすべて参考値（受注高を除く）。

・記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

目次



2022年9月期 第2四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

グループ概要

現状のリスクについて



2022年9月期 通期業績への影響

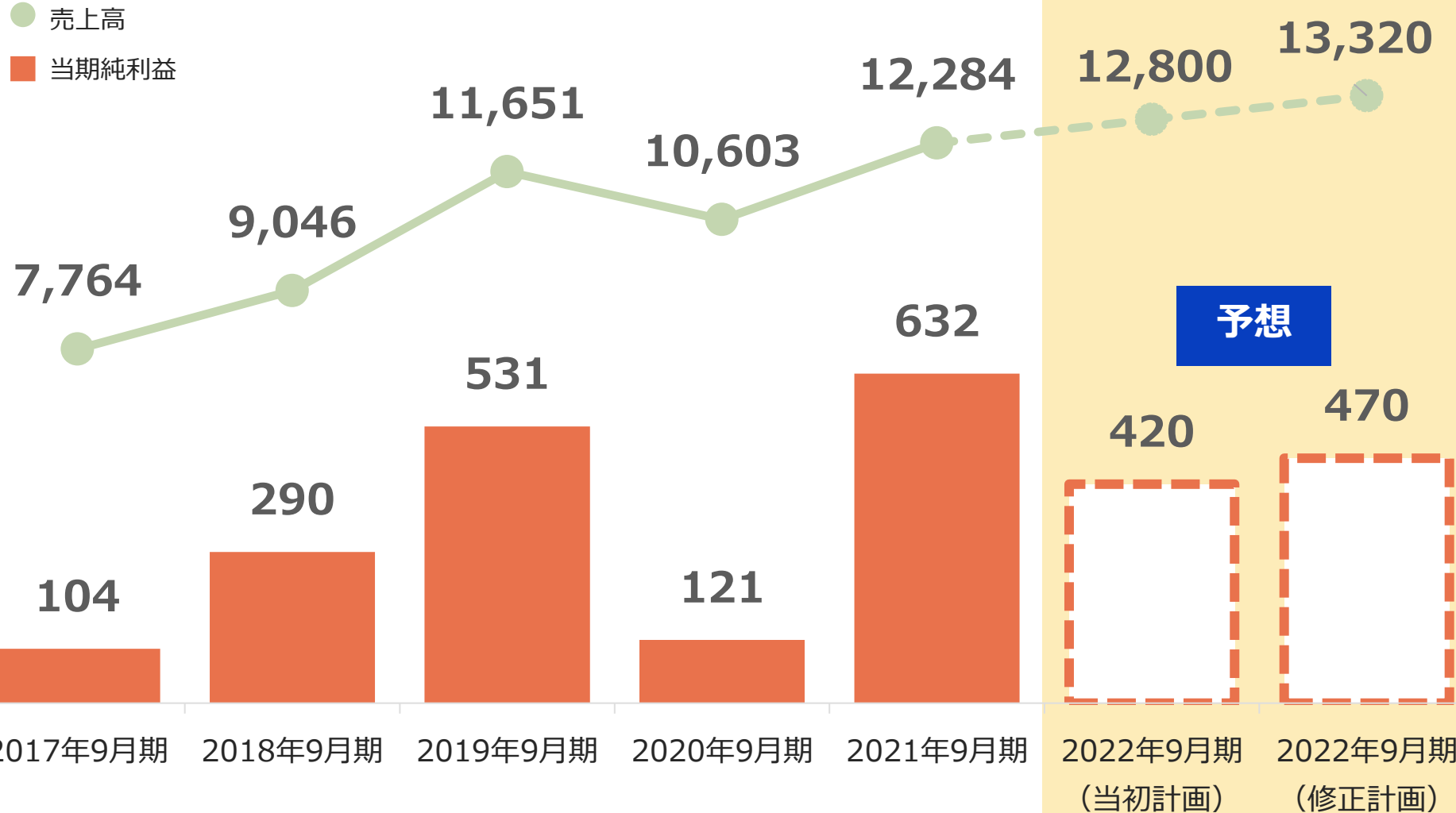
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びその長期化により、現在発生している、あるいは発生のおそれがある事象として以下のようなものがある。
 - 医療情報システムを受注した病院において、新型コロナウイルスの対策として病院関係者以外の施設内への立ち入り制限が行われる、あるいは、病院内での感染発生や当社グループもしくは販売パートナーの担当社員等が感染した場合、導入作業が中断し、納品が遅れることにより、売上計上が遅延する。
 - 医療機関が新型コロナウイルスの対策を優先することにより、当社グループまたは販売パートナーにおける営業活動が長期停滞した場合、受注状況が悪化する。
 - 支援を受注した医薬品等の臨床開発プロジェクトにおいて、予定された症例数（データ）を集められず、プロジェクトの進捗が遅延し、売上計上が延期する。
- 現在は世界的な半導体不足が発生しており、それに伴うサーバー等の納品遅延が発生する可能性がある。

※ 例示であり、これに限るものではありません。

2022年9月期 業績見通し

業績予想
修正あり

● 売上高
■ 当期純利益



2022年9月期 業績見通し

業績予想
修正あり

単位：百万円	2021年9月期 実績	2022年9月期		当初計画 (2021年11月8日) 対 前期比増減率	修正計画 (2022年4月25日) 対 前期比増減率
		当初計画 (2021年11月8日)	修正計画 (2022年4月25日)		
売上高	12,284	12,800	13,320	+ 4.2%	+ 8.4%
営業利益	879	800	870	△ 9.0%	△ 1.0%
経常利益	908	800	880	△ 12.0%	△ 3.2%
当期純利益	632	420	470	△ 33.6%	△ 25.7%

- 当社グループの主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・Is/AZ」のシステム販売・保守が好調に推移。
- 加えて、2022年2月4日発表の「株式会社サンカクカンパニーの株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ」のとおり、同社の連結子会社化に伴い、当第3四半期以降の当社連結業績に同社業績が加算される。

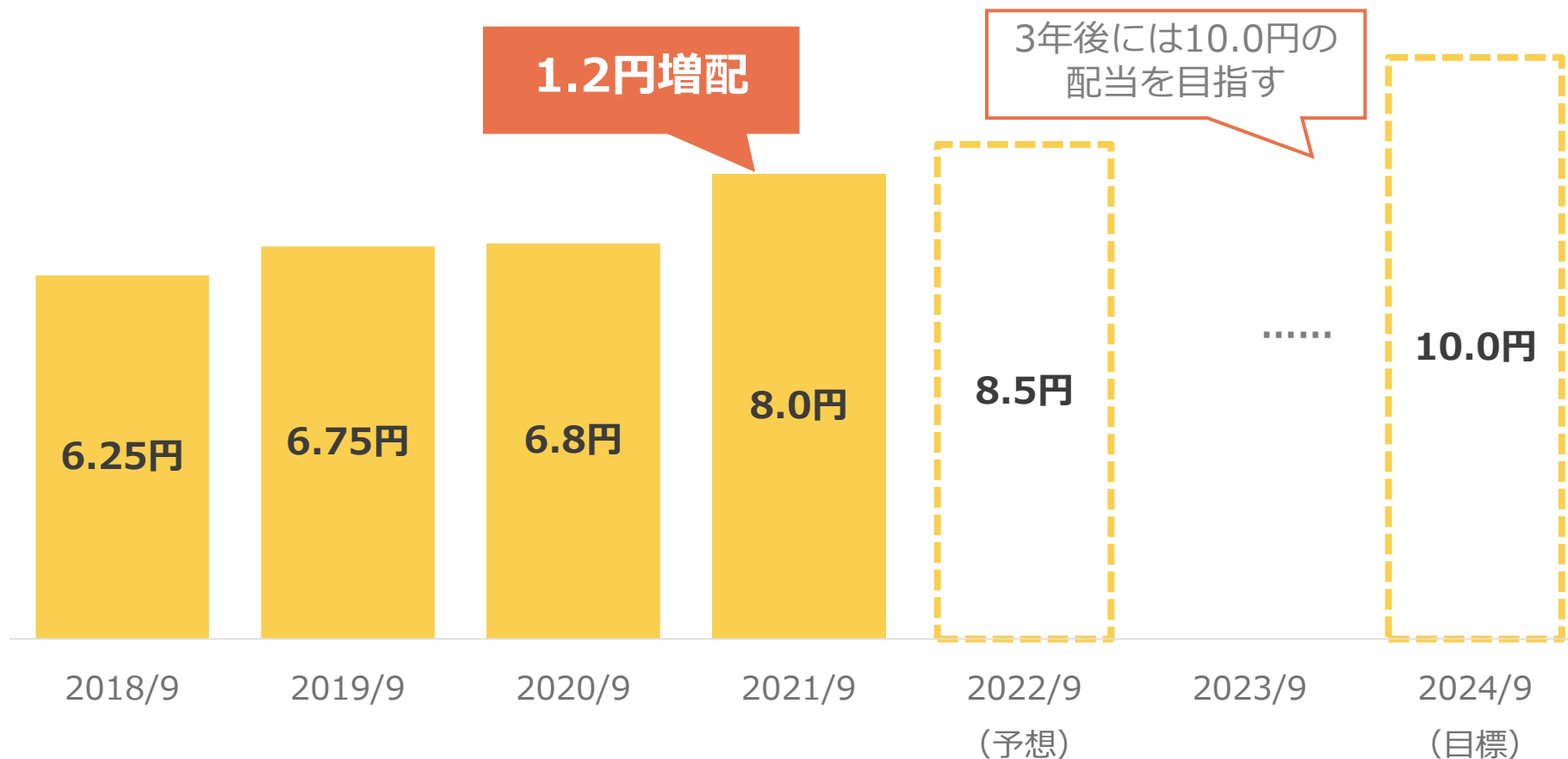
・2022年9月期の期首より「収益認識基準」等を適用したため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。そのため、前期比増減率は参考値です。

剰余金配当に関して



【利益配分に関する基本方針】

- 株主尊重を第一義として考え、利益配分については、経営基盤の一層の強化と事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を継続して実施していく。



目次



2022年9月期 第2四半期業績

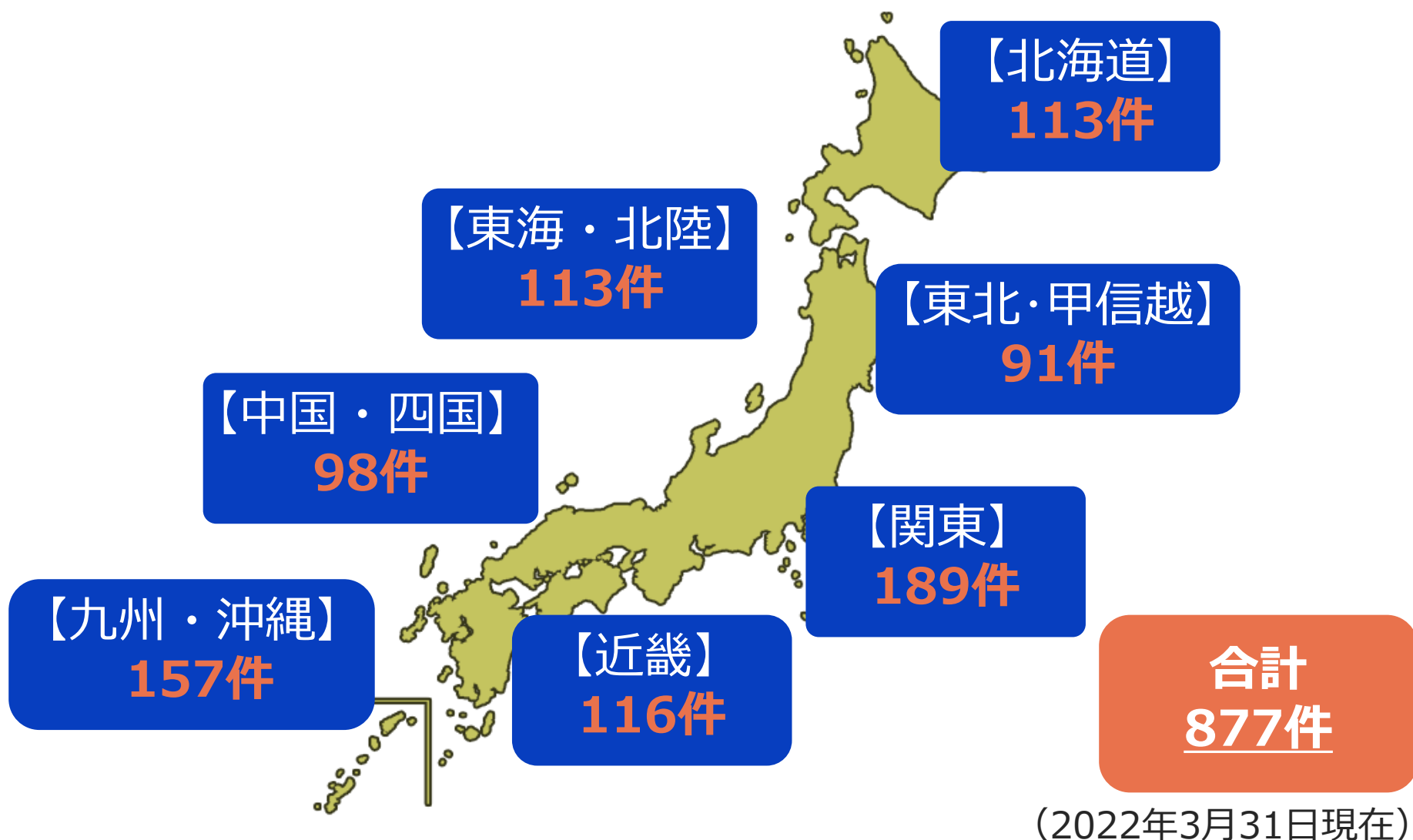
2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

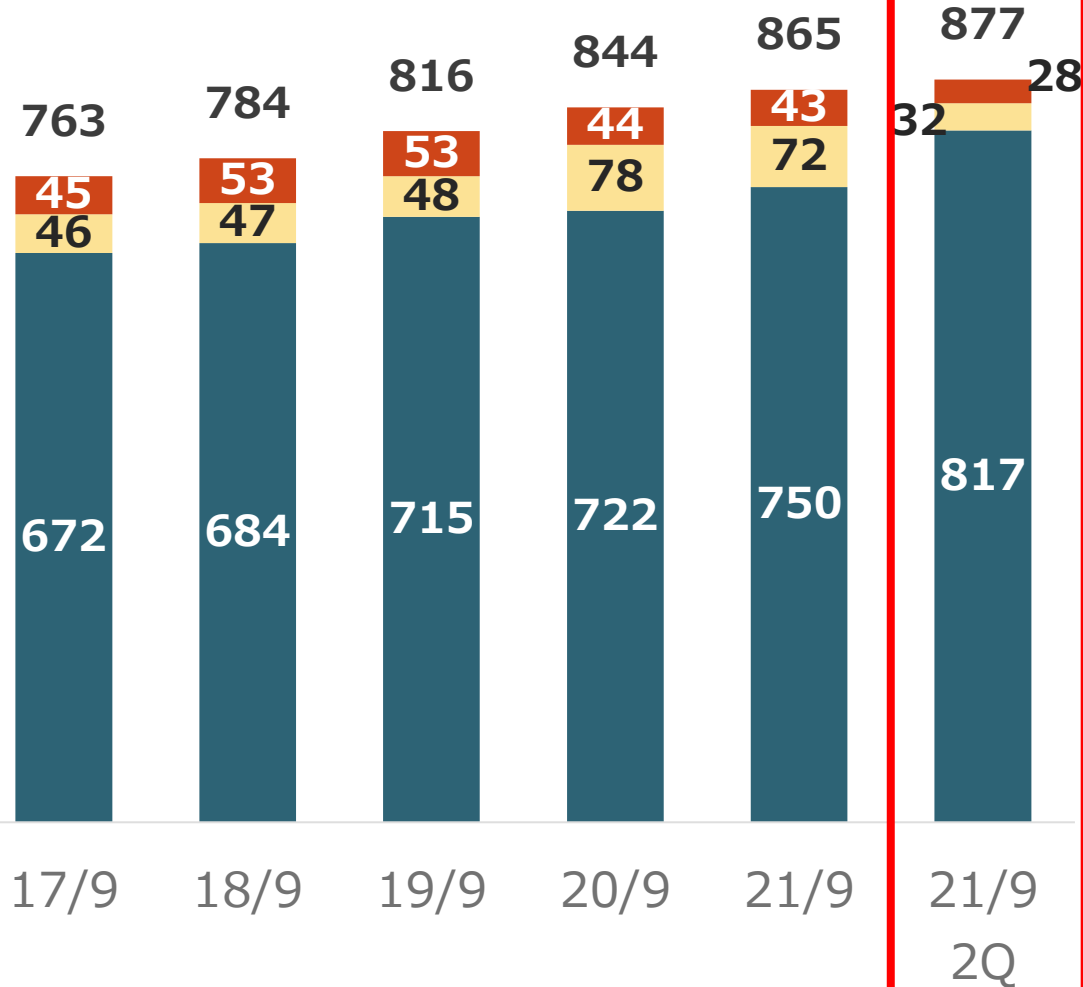
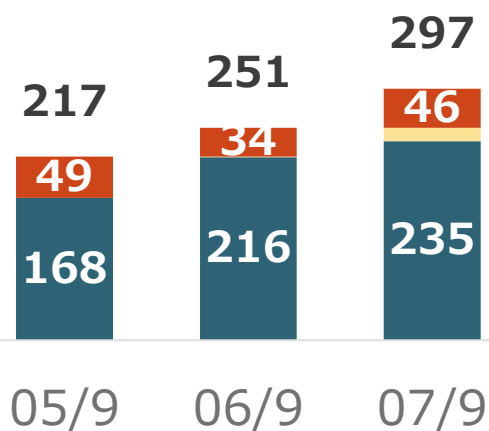
グループ概要

MI・RA・Isシリーズ導入実績



MI・RA・Isシリーズ導入数推移

- 新規ユーザー
(当期新規獲得)
- 継続ユーザー
(当期アップグレード)
- 継続ユーザー



目次



2022年9月期 第2四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

グループ概要

東証新市場区分（プライム市場）への移行

- 東証第一部からプライム市場に移行（2022年4月4日）
- プライム市場上場維持基準の充足状況

	当社の数値 (2021年9月30日時点)	直近数値 (2022年3月31日時点)	プライム市場 上場維持基準
流通株式時価総額	61.4億円	55.7億円	100億円

株価は2021年7～9月の
終値平均570.2円で計算

株価は2022年3月31日の
終値510円で計算

プライム市場の上場維持基準充足に向けた具体的な計画・取り組みについては、
「プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」を開示
(資料リンク：[20211206_prime-plan.pdf \(ce-hd.co.jp\)](https://www.ce-hd.co.jp/20211206_prime-plan.pdf))

また、本計画書と整合した**「中期経営計画」**を、本計画書とともに開示
(資料リンク：[20211206_mid-term.pdf \(ce-hd.co.jp\)](https://www.ce-hd.co.jp/20211206_mid-term.pdf))

CEHD東京ビル（仮称）の取得



- 東京都北区上中里の土地建物を事業会社から取得（2022年1月）
 - 物件概要
 - 土地：992.69㎡（300.28坪）
 - 建物：鉄筋コンクリート造4階建 延床面積1,754.41㎡（530.70坪）
 - 土地建物（取得済）に加え、改修工事、什器・備品購入等で、投資総額 約12億円を予定
- グループ会社が現在入居している賃貸オフィス（東京都港区芝浦）を解約し、上記物件に移転予定（2022年6月）
- 目的
 - グループ従業員数の増加（M&Aによるグループ会社の増加を含む）による費用増の抑制
 - ABW（※）を導入し、働きやすく、生産性が向上し、ワークライフバランスを実現できる環境とする。また、会社や部門の物理的な壁を極力取り払い、グループ会社間及び各会社内のコミュニケーションをより活性化させる。

※ ABW（Activity Based Working）

オフィス（執務スペース、個人ブース、カフェスペース等の各スペース）と自宅から、業務や気分に合わせて、柔軟に場所を選べる働き方。

目次



2022年9月期 第2四半期業績

2022年9月期 業績見通し

電子カルテシステム導入状況

TOPICS

グループ概要

会社概要 (2022年3月末現在)



商号	株式会社 C E ホールディングス	
設立	1996年3月25日	
資本金	11億9,855万円	
所在地	札幌市白石区平和通15丁目北1番21号	
代表者	代表取締役会長 杉本 恵昭 代表取締役社長 齋藤 直和	
上場市場	東証一部、札証（証券コード：4320）	
主な株主	日本電気株式会社、日本事務器株式会社、 日本生命保険相互会社、 株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行	
従業員数	572名（連結）	
連結子会社 () 内は持株比率	株式会社シーエスアイ	(100.0%)
	株式会社 M o c o s u k u	(57.5%)
	株式会社エムシーエス	(51.0%)
	株式会社マイクロン	(70.6%)
	株式会社エムフロンティア	(マイクロン100.0%)
	株式会社デジタルソリューション	(100.0%)
	株式会社サンカクカンパニー	(100.0%)

当社グループの概要

※  は連結子会社



CEホールディングス

略称 CEHD
設立 1996年3月
上場会社・持株会社



シーエスアイ

略称：CSI 持株比率：100.0%

電子カルテシステム「MI・RA・Is」を中心とした医療システム開発と受託システム開発



Mocosuku

持株比率：57.5%

医療とWebの知見を活用した、産業保健事業、人材事業、マーケティング事業



エムシーエス

略称：MCS 持株比率：51.0%

看護業務システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



マイクロン

持株比率：70.6%

イメージング技術を活用した効率的な臨床開発支援



エムフロンティア

持株比率：マイクロン 100.0%

臨床開発に必要な、高度な人材の派遣



デジタルソリューション

略称：DS 持株比率：100.0%

医療情報システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



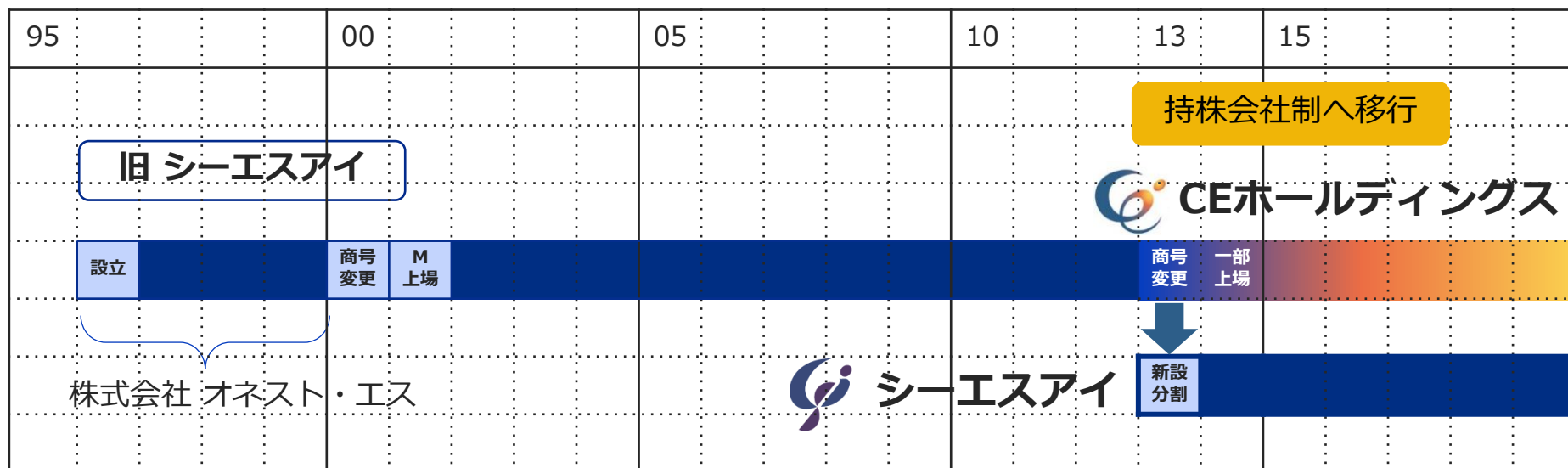
サンカクバン^oニー
company

略称：サンカク 持株比率：100.0%

企業やサービスのデジタルマーケティング実行支援とデジタルマーケティング人材を育成



グループの沿革



持株会社制へ移行後



【エムシーエス】2015年 出資



【マイクロン】2019年 出資

【IMフロンティア】マイクロンの完全子会社



【Mocosuku】2013年 設立



【デジタルソリューション】

システム情報パートナー（2016年 取得）と
ディージェーワールド（2014年 取得）が
2021年に合併し、商号変更



【サンカクカンパニー】2022年 取得

事業内容



セグメント	主要な製品・サービス		提供会社
医療 ソリューション 事業	電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」	MI・RA・Is/AZ 等	CSI、MCS
	地域医療連携システム	ID-Link	CSI
	医療機関・患者のコミュニケーションサービス	かかりん	CSI
	医療情報システムの受託開発		CSI、DS
	医療情報システムの運用管理（病院内のシステム・ネットワークの運用管理等）		DS
	医療機関向け料金後払いシステム		DS
	医薬品・医療機器の臨床開発受託		Micron
その他	Webサイトの構築・運用、コンテンツ制作		Mocosuku
	企業や健保組合からの、健康相談窓口や特定保健指導の受託		Mocosuku
	人材事業（介護士等の資格保有者派遣、一般紹介・派遣）		Mocosuku
	デジタルサイネージの販売		DS

※ 2022年2月に子会社化した株式会社サンカクカンパニーを除く



2022年9月期 第2四半期決算補足説明資料

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)
株式会社 C E ホールディングス
経営・事業企画室
TEL.011-861-1600